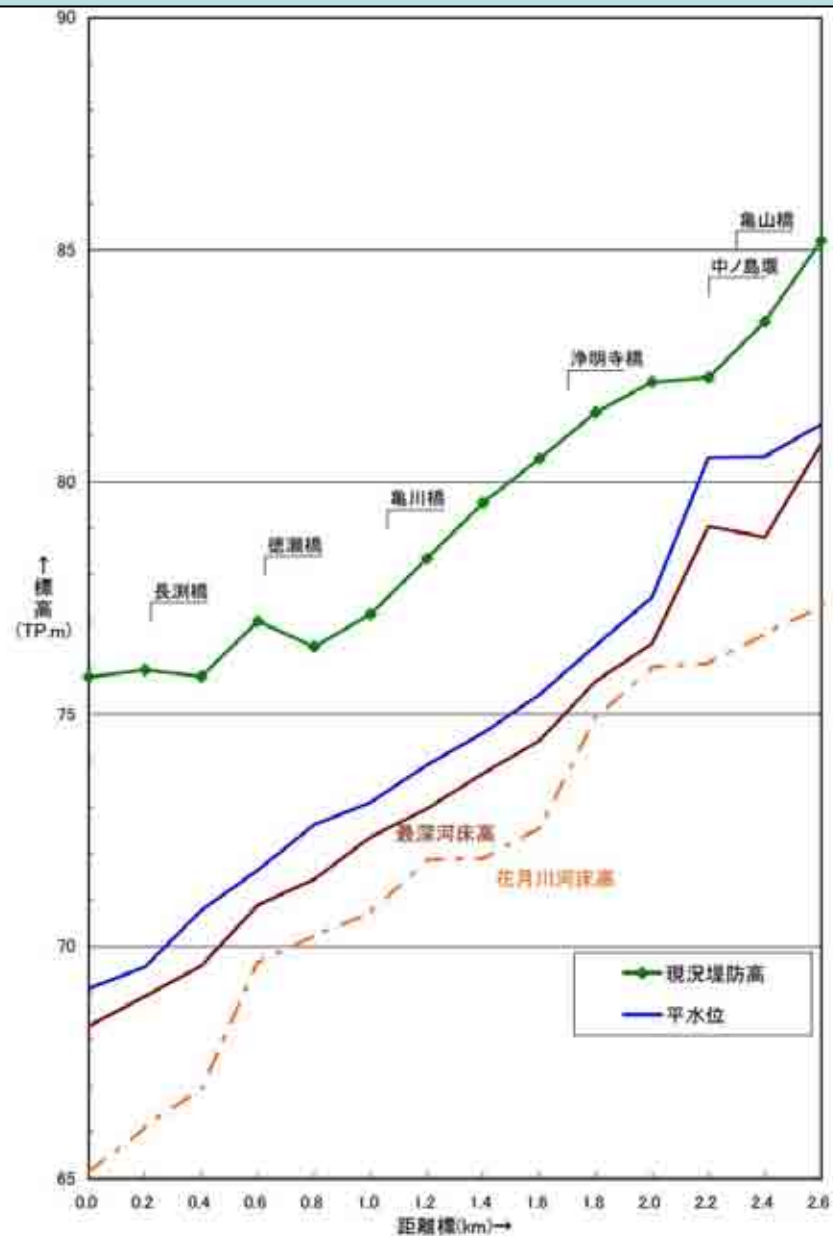


日田 川・まち みらいづくり懇談会

～庄手地区川づくりワークショップ～
～第2回～

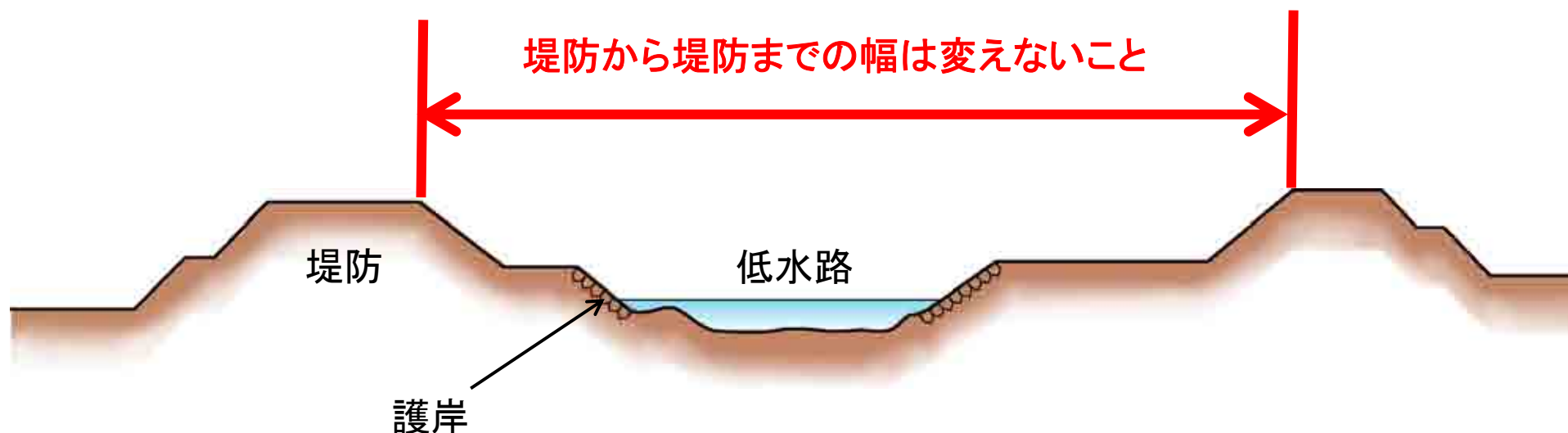
平成19年1月25日

Q.河床の勾配はどのようなになっているのか。



Q.堤防の話をしてはいけないということは、
護岸撤去をしないということか。

- 今回の検討では、堤防から堤防までの幅については変えないことを前提とします。
- 水が流れているところ(低水路)の幅、護岸や堤防の景観・利用については、議論をお願いいたします



Q.庄手川に流れ込む川については、議論しないのか。

- 今回のWSの対象は庄手川であり、他の川については、今回のかわづくりの検討では対象としません。
- ただし、庄手川に流れ込む川を含めた、地域での、庄手川を良くするための取り組みは検討の対象となりうる。

例)

- ・家庭からの排水を改善するための取り組み
- ・川にゴミを流さない取り組み

Q.三川分派についてワークショップで検討しないのか。

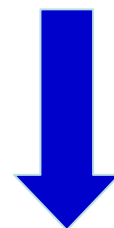
庄手川地区
かわづくりWS

- ・ 平常時の水の量はどのくらいが良いか
 - ・ どのように利用したいか
 - ・ どのような眺めがよいか
 - 等

対策案の提案



平常時の水量の提案

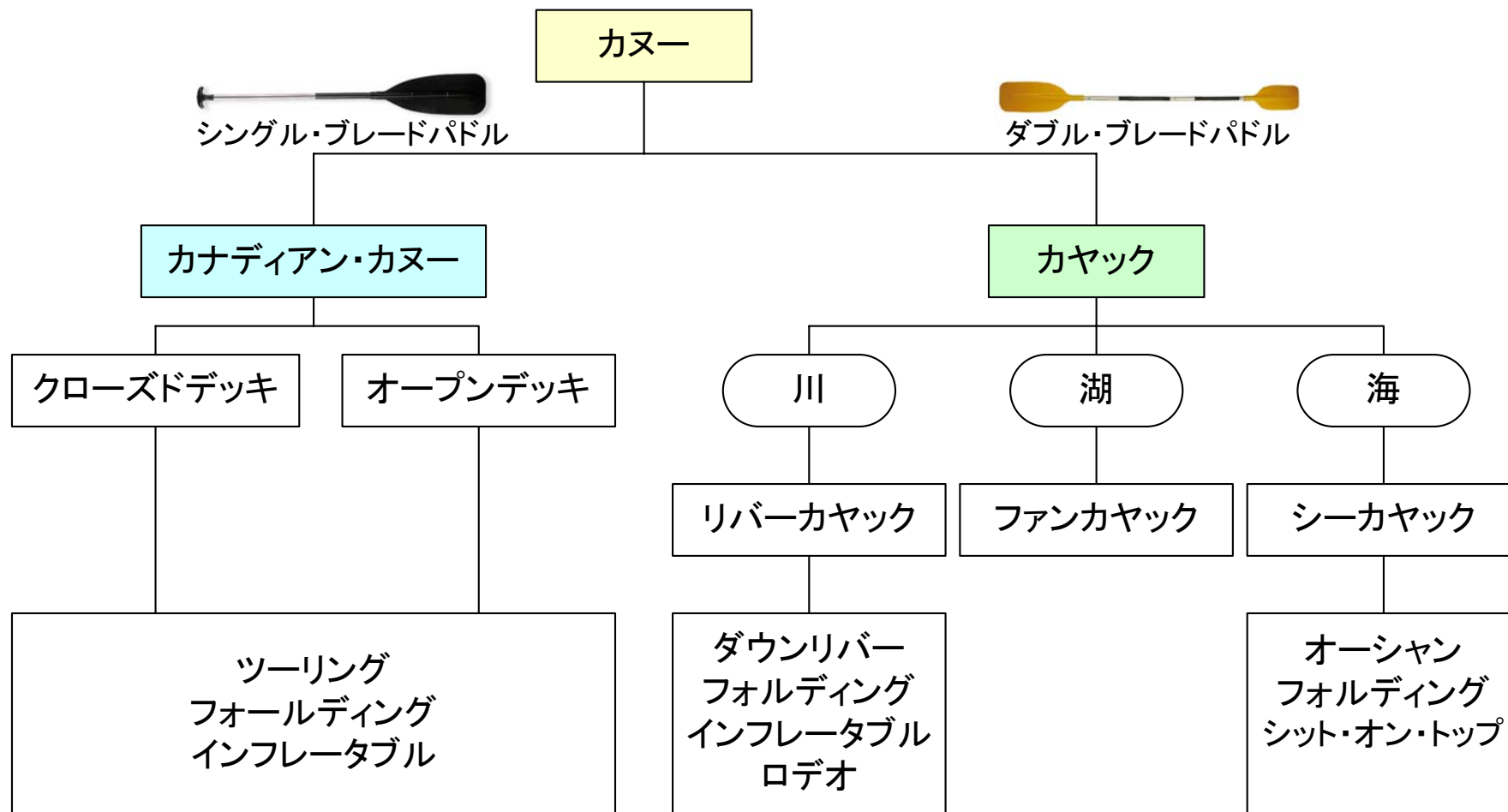


三河分派の
適正化検討部会

- ・ 洪水時にどのくらいの流量がよいか
- ・ 適正な量を流すにはどのような対策がよいか可能か

Q.カヌーをするにはどのくらいの流れ、深さが必要か。

カヌーはパドルの種類により大きく「カナディアン・カヌー」と「カヤック」に分けることができます。



使用する場所によって、カヌーの種類は変わりますが、使用目的や川の状況に合わせて、適切なカヌーを選択することが大切です。

Q.カヌーをするにはどのくらいの流れ、深さが必要か。

【庄手川で利用可能と考えられるカヌー】



カナディアンカヌー
(湖・緩やかな川)



フォールディングカヤック
(川(中流～下流)・湖・海)



インフレータブルカヤック
(川)



ファンカヤック
(緩やかな海、川・湖)



シット・オン・トップ
(海(沿岸)・川)



リバーカヤック
(川(上流～中流))

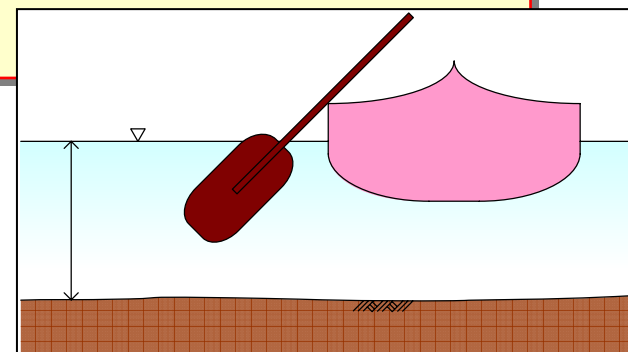
Q.カヌーをするにはどのくらいの流れ、深さが必要か。

【カヌー遊びを行える川の状態】

一般的に、カヌーの種類を選択することにより、どのような川でもカヌー遊びを行うことはできます。

◆カヌー遊びに必要な水深は、**30cm以上**※1

ただし、浅すぎるとパドルが川底にあたり漕ぎ難い。



◆カヌー遊びに適した流速は、**1.2m/s以下**※2

ボート遊びに適した流速は**0.8m/s以下**※2

一定流速よりも、流速に変化があったほうが安全である※1

※1日本レクリエーションカヌー協会聞き取り結果より

※2川の親水プランとデザイン(財)リバーフロント整備センターより